

死刑廃止における 国際法の役割

2021年7月15日(木)

16:00~17:00 オンライン開催

参加申込はこちらから↓

<https://www.eventbrite.com.au/e/in-conversation-with-professor-william-schabas-tickets-151594359811>

本セミナーでは、国際刑事法・人権法の第一人者であるウィリアム（ビル）・シャバス教授をお招きし、市民的及び政治的権利に関する国際規約（ICCPR）を中心に、死刑制度の制限や廃止における国際法の役割について議論します。Eleos Justice は、死刑廃止を目指す NGO 「Capital Punishment Justice Project」とモナッシュ大学法学部の共同プロジェクトであり、Conversation Series は、学識経験者、実務家、弁護士などの優れた人材を集め、アジア太平洋地域における死刑制度に関する問題を議論するシリーズです。第5回目となる本企画は、CrimeInfo もイベントパートナーとして関わっています。

※本セミナーは英語のみで実施します。

後日、日本語字幕付きの動画を公開する予定です。

主催：

Eleos Justice

共催：

CrimeInfo、
MONASH University、
Capital Punishment
Justice Project

モデレーター

佐藤 舞

CrimeInfo 副代表、
Eleos Justice 代表、
モナッシュ大学法学部准教授

講演者

William A. Schabas (ミドルセックス大学教授)

ウィリアム・A・シャバスは、ロンドンのミドルセックス大学の国際法教授、ライデン大学の名誉教授、パリ政治学院の著名な客員教授。また、アイルランド国立大学ゴールウェイ校の名誉教授であり、アイルランド人権センターの名誉会長でもある。人権および国際刑事法の分野で、主な著書に『Oxford Commentaries on the Rome Statute』や『European Convention on Human Rights』など。国連事務総長に対し死刑に関する5年ごとの報告書を作成しているほか、「シエラレオネ真実和解委員会（Sierra Leone Truth and Reconciliation Commission）」のメンバー、カナダ勲章のオフィサー、ロイヤル・アイリッシュ・アカデミーのメンバー、いくつかの名誉博士号を持つ。



↑ 参加申込はこちらから

Event Partners

